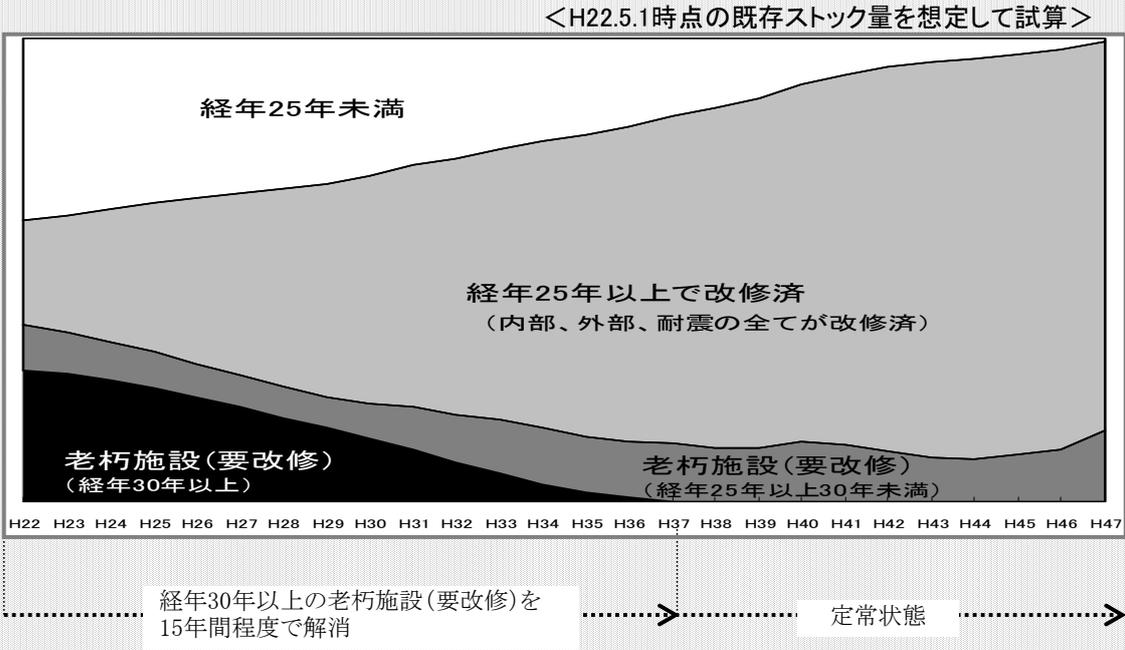


①「安全性・機能性に問題のある既存ストックの改善」の考え方

次期5か年計画(たたき台)(H23~27)

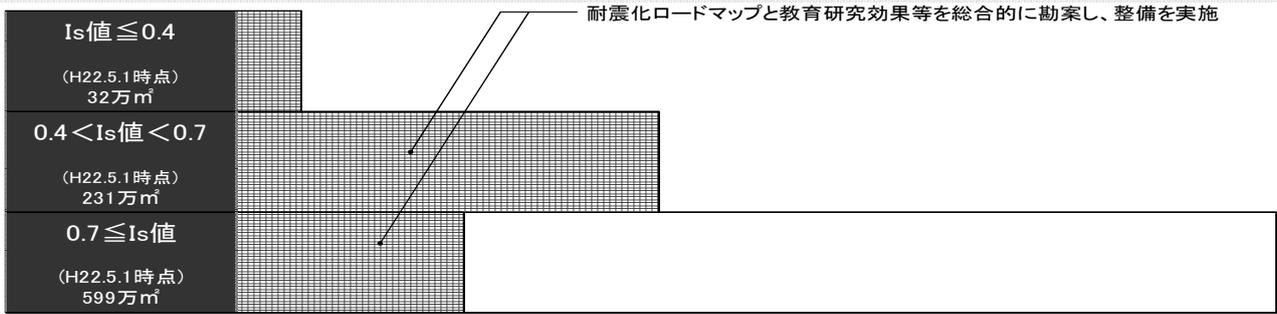
(1) 【施設】 15年後に安定的な施設の維持管理・更新ができる定常状態(※)
 ※30年以上改善が行われないままの施設を生じさせない状態



(2) 【基幹設備(ライフライン)】 老朽化の著しい基幹設備(ライフライン)の改善

(1) 【施設】 ※ 附属病院を除く

- 原則、5年間で耐震化の完了を目指す。
- I_s 値 ≤ 0.4 の施設は、原則、H23,24の2年間で改善を目指す。
- $0.4 < I_s$ 値 < 0.7 の施設は、教育研究効果等を勘案しつつ、原則、H23~27の5年間で改善を目指す。 ※教育研究効果等の高い施設から優先的に整備を実施
- $0.7 \leq I_s$ 値の施設は、教育研究効果等の高い事業を整備。



(2) 【基幹設備(ライフライン)】

- 法定耐用年数の2倍を超える基幹設備(ライフライン)の改善

②「高度化・多様化する教育研究活動の実施に不可欠な新たなスペースの確保」の考え方

次期5か年計画(たたき台)(H23~27)

新たな教育研究ニーズへの対応については、既存施設の有効活用等を基本とし、真にやむを得ないものについては新增築による整備を図る。

- (1) 国際競争力のある世界的教育研究拠点の整備
 - ・第2次5か年計画の「卓越した研究拠点」の実績と同程度を確保
- (2) 若手研究者のスペースの確保
 - ・若手研究者(ポストドクター等)のスペースを確保
- (3) 留学生の増加に伴う整備
 - ・増加する留学生への対応として、宿舎を確保
- (4) 医学部定員増に伴う整備
 - ・医学部定員増による不足面積に対応
- (5) 特色ある教育研究活動を活性化するためのスペース不足が特に著しい施設の整備
 - ・整備率が特に低い施設等に配慮

③「大学附属病院の再生」の考え方

次期5か年計画(たたき台)(H23~27)

引き続き、再開発整備を着実に実施していくとともに、先進医療に対応した整備や基盤的設備の整備等についても適切に対応する。

- (1) 再開発整備の着実な実施
 - ・整備中の26大学について、着実に実施
 - ・未着手の6大学について、順次再開発に着手
- (2) 先進医療に対応した整備等
 - ・先進医療等に的確に対応するための整備
- (3) 基盤的設備の整備
 - ・附属病院の機能強化に不可欠な設備等を整備